

証券コード 4514

株主の皆様へ

— 第97期 —

株 主 通 信

2016年4月1日～2017年3月31日

LIFE with ASKA

先端の創薬を通じて、
人々の健康と明日の医療に貢献する



コーポレートキャラクター
あすかちゃん



あすか製薬株式会社

中期経営計画「ASKA PLAN 2020」は順調にスタート。過去最高の売上高を計上したほか、待望の新薬リフキシマの発売、新薬導入へのオプション契約締結など積極的に業務展開を推進し、重点3領域（内科、産婦人科、泌尿器科）のさらなる強化を進めました。



代表取締役社長

山口 隆

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第97期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

2016年4月から取り組んでいる中期経営計画「ASKA PLAN 2020」は順調に推移しております。おかげさまで、計画初年度となる当事業年度の業績は、売上高が過去最高の485億2千7百万円（前期比12.3%増）を計上した他、営業利益17億9千3百万円（前期比39.7%増）、経常利益20億2百万円（前期比31.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益29億4千4百万円（前期比319.8%増）といずれも大幅な増益となりました。

新薬事業では、本中期経営計画の核となる新薬「リフキシマ錠200mg」を2016年11月に発売いたしました。本剤は人々の健康と明日の医療に貢献する

目次

株主の皆様へ	1
事業の概況	3
トピックス	6
主要製品	9

連結財務諸表	10
会社概要	11
株式の概況	12
株式に関するお知らせ	13

待望の新薬です。全社一丸となって、市場への早期定着とその価値の最大化を進めてまいります。

また、重点3領域（内科、産婦人科、泌尿器科）のさらなる強化への取り組みとして、ノーベルファーマ株式会社との産婦人科領域における包括的業務提携契約、米国TesoRx Pharma社との業務提携、米国Pieris Pharmaceuticals社とのオプション契約など、積極的な業務展開を進めました。

ジェネリック事業では、従来からの「カンデサルタン錠」に加え、配合剤の「カムシア配合錠」と「カデチア配合錠」を発売し、カンデサルタンAGファミリーとして売上を大きく伸ばしました。本剤の適正使用推進に引き続き注力するとともに、製品群で強化した甲状腺

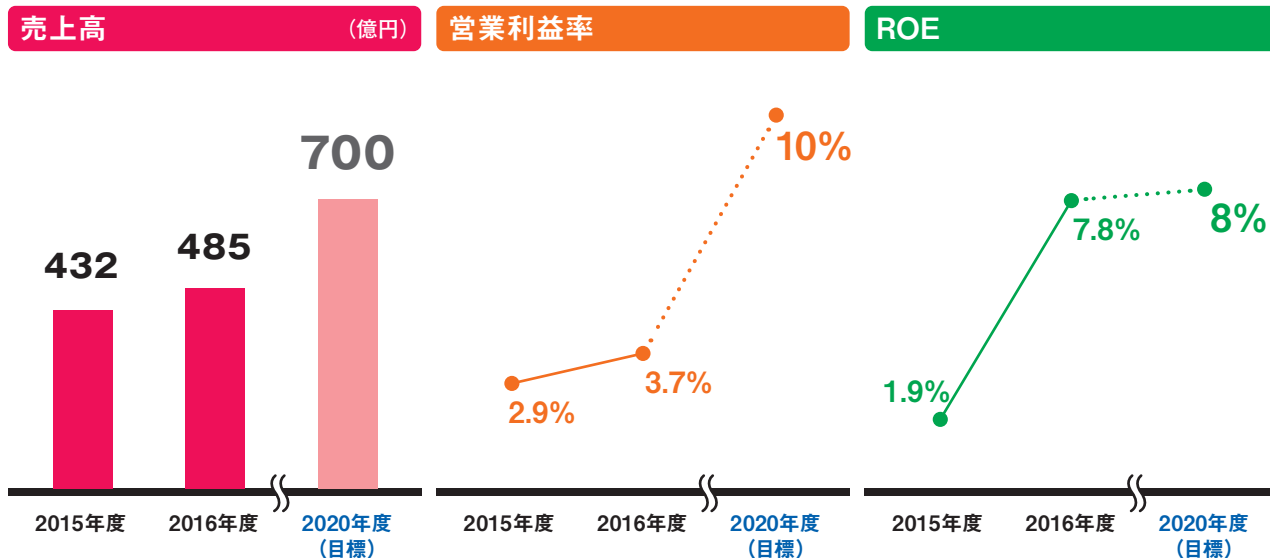
領域も含め、得意領域でのプレゼンス向上に努めてまいります。

当社は、引き続き売上拡大を目指す一方で、今後も原価低減や費用の削減に取り組み、収益体質の強化に努めてまいります。そして、本中期経営計画のビジョン「存在感のあるスペシャリティファーマ」の実現を目指し、数値目標である「売上規模700億円、営業利益率10%、ROE8%」の達成に向け、一丸となって邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年6月

中期経営計画「ASKA PLAN 2020」の数値目標

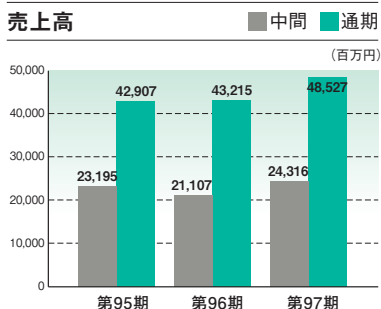


事業の概況

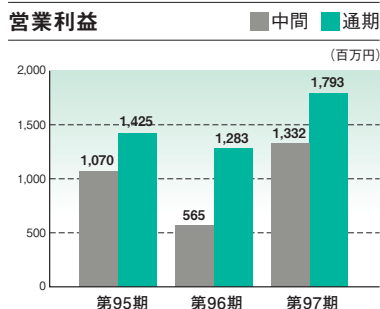
当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度から53億1千1百万円増加し、過去最高の485億2千7百万円（前連結会計年度比12.3%増）となりました。利益面では、製品承継等に伴う減価償却費の増加、開発候補品導入等による研究開発費の増加を受けて、販売費及び一般管理費が前連結会計年度を上回ったものの、売上が順調に拡大したことにより、営業利益17億9千3百万円（前連結会計年度比39.7%増）、経常利益20億2百万円（前連結会計年度比31.6%増）といずれも増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、川崎研究所における環境対策費用等12億6千万円を特別損失に計上したものの、福島県からの補助金収入25億5千8百万円を特別利益に計上したことから29億4千4百万円（前連結会計年度比319.8%増）と大幅な増益となりました。

財務ハイライト（連結）

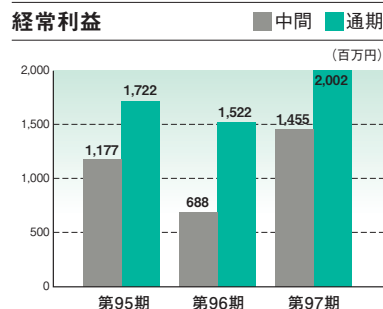
売上高



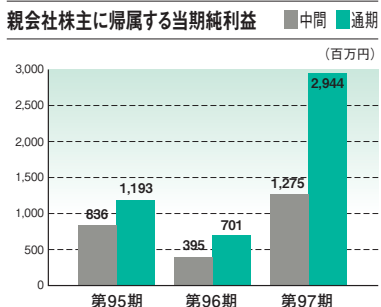
営業利益



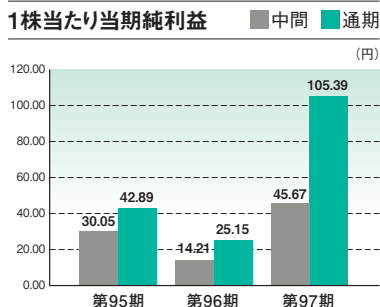
経常利益



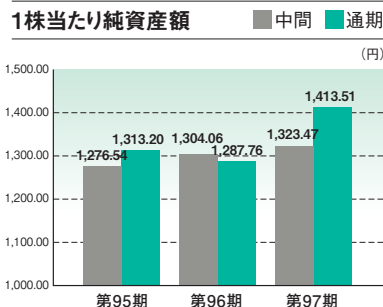
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



1株当たり純資産額



(注) 当期末の自己資本比率は59.8%です。

【セグメント別の業績】

医薬品事業

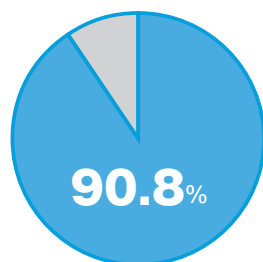
2016年3月および9月にそれぞれ発売した配合剤の「カムシア配合錠」と「カデチア配合錠」を含む、オーソライズド・ジェネリック「カンデサルタン類」の売上が127億4千8百万円（前連結会計年度比39.9%増）、LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リュープロレリン」の売上が38億4千1百万円（前連結会計年度比41.2%増）と大きく伸長したこと等により、医薬品事業の売上高は440億8千3百万円（前連結会計年度比13.2%増）、セグメント利益は41億7千万円（前連結会計年度比28.8%増）と、増収増益となりました。

なお、当連結会計年度において、産婦人科、内科、泌尿器科の重点領域強化への取り組みとして、2016年11月にノーベルファーマ株式会社との間で、産婦人科領域における包括的業務提携契約を締結し、2017年3月より、低亜鉛血症治療薬「ノベルジン錠25mg・50mg」のコ・プロモーションを開始いたしました。

その他

動物用医薬品、臨床検査、医療機器、食品等の各事業を展開しているその他の事業の業績は、売上高は44億4千4百万円（前連結会計年度比4.3%増）と前連結会計年度とほぼ同水準に推移したものの、動物用医薬品事業における原価率の悪化等により、セグメント利益は5千2百万円（前連結会計年度比72.1%減）となりました。

医薬品事業



売上高構成比

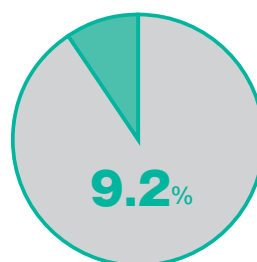
売上高

440億8千3百万円
前期比 **13.2%↑**

セグメント利益

41億7千万円
前期比 **28.8%↑**

その他



売上高構成比

売上高

44億4千4百万円
前期比 **4.3%↑**

セグメント利益

5千2百万円
前期比 **72.1%↓**

事業の概況

【研究開発の状況】

研究開発につきましては、重点領域である内科、産婦人科、泌尿器科領域を中心とした創薬研究および臨床開発を推進しております。

難吸収性抗菌薬 L-105 (リファキシミン) は、「リフキシマ錠200mg」として、2016年9月に製造販売承認を取得し、2016年11月に販売を開始いたしました。本剤は、肝性脳症の患者様における新たな治療の選択肢であり、当社は、患者様とご家族のQOL向上に貢献できるものと考えております。

選択的プロゲステロン受容体調節剤 CDB-2914 (ウリプリスタル) は、子宮筋腫を対象としたフェーズⅡ試験を終了し、現在、フェーズⅢ試験を準備中です。

また、開発候補品の導入活動として、2016年12月に米国TesoRx Pharma社との間で、新規経口テストステロン剤「THG-1001」の日本における開発および販売に関する独占的な提携契約を締結いたしました。加えて、2017年2月に米国Pieris Pharmaceuticals社との間で、貧血治療薬「PRS-080」の日本、韓国および他のアジア諸国における開発および販売に関する独占的なオプション契約を締結いたしました。

開発パイプライン (2017年5月現在)

開発コード/領域・効能	フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請	承認
L-105 (リファキシミン) 肝性脳症 (小児)	(準備中)				
※その他の適応症への開発については今年度中の進展を目指す					
CDB-2914 (ウリプリスタル) 子宮筋腫			フェーズⅡ 終了		
AKP-501 (rFSH製剤) 不妊症					
AKP-015 (T4注射剤) 粘液水腫性昏睡/重症甲状腺機能低下症	(準備中)				

※「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発企業の募集が行われ、当社が開発することを決定した。

■ 開発パイプラインは非臨床段階の品目がステージアップ次第、公開していく

NPC-16 婦人科領域 (月経困難症)				2017年7月 申請予定	
--------------------------------	--	--	--	-----------------	--

※ノーベルファーマ開発および製造販売

◆ ノーベルファーマとの産婦人科領域における包括的業務提携契約締結

2016年11月、当社はノーベルファーマ株式会社（以下、ノーベルファーマ）と、産婦人科領域における医療用医薬品に関する包括的な業務提携契約を締結し、同社が開発中の月経困難症治療薬NPC-16等について、製造および販売促進活動等の業務を受託することで合意いたしました。

また、ノーベルファーマが製造販売する低亜鉛血症治療薬「ノベルジン錠25mg・50mg」に関して、2017年3月よりコ・プロモーションを開始いたしました。これは、既にウィルソン病治療薬として上市されております本剤が、日本で初めて「低亜鉛血症」の効能・効果を追加で承認取得したことにもともない、当社が産婦人科医師を対象としたプロモーションを実施していくものであります。

当社とノーベルファーマは、今後も産婦人科領域での協力体制を進め、患者様や医療関係者の皆様に新たな価値を提供し、高度化する医療ニーズにお応えできるよう取り組んでまいります。



調印式でのノーベルファーマ社 塩村社長(左)と当社 山口社長(右)



◆ 第10回「生殖と女性医学」講演会を開催

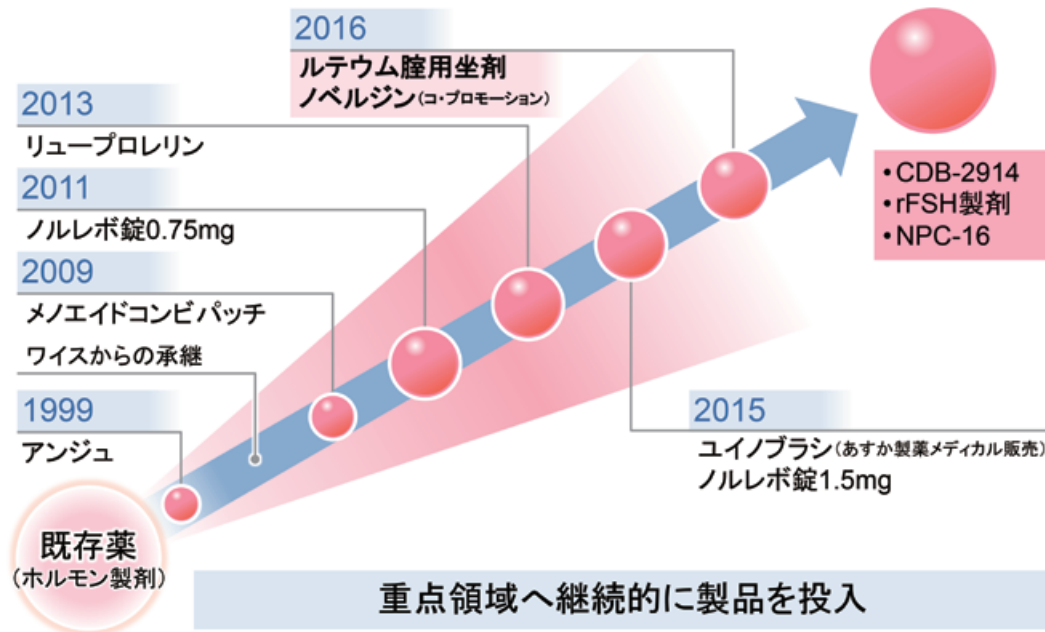
2017年4月8日(土)に産婦人科医師を対象とした第10回「生殖と女性医学」講演会をグランドニッコー東京台場で開催いたしました。

2008年に発足し、今回で10回目の節目を迎えた本講演会では、日本生殖医学会および日本女性医学学会の理事長をはじめ、多くの先生方にご講演を頂きました。各領域における今後の展望について取り上げた今回も、出席された約140名の先生方から高い評価を得ました。

「生殖と女性医学」講演会は今回で一旦終了となりますが、当社は引き続き女性のQOL向上に貢献し、産婦人科領域におけるプレゼンスを高めてまいります。



産婦人科領域におけるプレゼンスの向上



年数は事業年度で表記しております。

◆ 米国TesoRx Pharma社と新規経口テストステロン剤「THG-1001」の開発・販売に関する独占的提携契約締結

2016年12月、当社は米国カリフォルニア州に本社を置くTesoRx Pharma LLCと、同社が米国で開発中である新規経口テストステロン剤「THG-1001」の日本における開発および販売に関する独占的な提携契約を締結しました。

「THG-1001」は、米国での前臨床試験の結果から、テストステロンの補充療法において安全かつ有効な経口製剤になる可能性が示唆されております。当社は、重点領域の1つである泌尿器科領域をさらに強化するとともに、経営ビジョンである「競争力のあるスペシャリティファーマ」を引き続き目指してまいります。

◆ 米国Pieris Pharmaceuticals社と貧血治療薬「PRS-080」の開発・販売に関する独占的オプション契約締結

2017年2月、当社は米国マサチューセッツ州に本社を置くPieris Pharmaceuticals, Inc. (以下、「PIRS社」と、同社が欧州で開発中である貧血治療薬「PRS-080」について、日本、韓国および他のアジア諸国における開発および販売に関する独占的なオプション契約を締結しました。

「PRS-080」は、新規の作用機序に基づく新しいクラスの貧血治療剤で、鉄代謝の主要な調節因子であるヘプシジンを強く抑制します。PIRS社は現在、透析施行中の慢性腎臓病患者を対象とした臨床試験を行っており、フェーズIIa (反復投与試験) が2017年後半に完了する予定です。

当社は「PRS-080」への注力をはじめ、新たな治療の選択肢を提案できる薬剤の開発を通じて、様々な医療ニーズへの対応に努めてまいります。

◆ 新製品

内科 2016年11月発売



● 難吸収性リファマイシン系抗菌薬 リフキシマ錠 200mg

難吸収性抗菌薬の中で、本邦で初めて「肝性脳症における高アンモニア血症の改善」を効能・効果とする薬剤です。

産婦人科 2017年6月発売予定



● 子宮内膜症治療剤 ジェノゲスト錠 1mg[KN] ジェノゲストOD錠 1mg[KN]

選択的にプロゲステロン受容体に作用し、1日2回の服用で子宮内膜症に効果を示します。

主要製品

医療用医薬品

内科	カンデサルタン類	高血圧症治療剤
内科	リビディル	高脂血症治療剤
内科	アムロジピン	高血圧症治療剤
内科	チラーゼン	甲状腺ホルモン剤
内科	メルカゾール	抗甲状腺剤
産婦人科	ノルレボ	緊急避妊剤
産婦人科	アンジュ	経口避妊剤
産婦人科 泌尿器科	リュープロレリン	前立腺癌・乳癌・子宮内膜症治療剤
泌尿器科	ビカルタミド	前立腺癌治療剤
泌尿器科	プロスタール	前立腺肥大症・癌治療剤



カンデサルタン類



リビディル



チラーゼン



メルカゾール



ノルレボ



アンジュ



リュープロレリン



ビカルタミド

動物用医薬品

アイブロシンプラス	豚・鶏呼吸器疾患治療剤
レジブロン	プロスタグランジンF2 α 類縁体製剤



アイブロシンプラス



レジブロン

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2016年3月31日現在	当連結会計年度 2017年3月31日現在
資産の部		
流動資産	26,878	37,059
現金及び預金	5,462	14,761
受取手形及び売掛金	8,566	9,485
有価証券	—	500
その他	12,850	12,312
固定資産	30,599	29,067
有形固定資産	13,801	12,829
無形固定資産	3,296	3,491
投資その他の資産	13,501	12,746
投資有価証券	8,985	8,714
その他	4,515	4,031
資産合計	57,478	66,126
負債の部		
流動負債	10,992	16,253
固定負債	10,524	10,361
負債合計	21,517	26,615
純資産の部		
株主資本	34,398	36,965
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	851	851
利益剰余金	34,759	37,312
自己株式	△ 2,410	△ 2,396
その他の包括利益累計額	1,562	2,545
その他有価証券評価差額金	1,984	2,726
退職給付に係る調整累計額	△ 422	△ 180
純資産合計	35,961	39,511
負債純資産合計	57,478	66,126

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2015年4月1日から 2016年3月31日まで	当連結会計年度 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
売上高	43,215	48,527
売上原価	26,072	29,614
売上総利益	17,143	18,913
返品調整引当金繰入額	△ 1	0
差引売上総利益	17,144	18,913
販売費及び一般管理費	15,861	17,119
営業利益	1,283	1,793
営業外収益	389	441
営業外費用	150	232
経常利益	1,522	2,002
特別利益	213	2,558
特別損失	287	1,260
税金等調整前当期純利益	1,448	3,300
法人税等	746	356
当期純利益	701	2,944
親会社株主に帰属する当期純利益	701	2,944

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2015年4月1日から 2016年3月31日まで	当連結会計年度 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,349	12,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,776	△ 378
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,013	△ 2,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	△ 4,112	9,299
現金及び現金同等物の期首残高	9,574	5,462
現金及び現金同等物の期末残高	5,462	14,761

会社概要 (2017年6月29日 現在)

会社の概要		
社名	あすか製薬株式会社	
設立	ASKA Pharmaceutical Co.,Ltd.	
	1929年6月28日	
	(創立1920年6月16日)	
資本金	11億9,790万円	
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入	
主な事業所	東京都港区芝浦二丁目5番1号	
本社	川崎研究所 (神奈川県川崎市)	
研究	いわき工場 (福島県いわき市)	
工場	札幌営業所、仙台営業所、	
営業	郡山営業所、東京営業所、	
	横浜営業所、さいたま営業所、	
	千葉営業所、宇都宮営業所、	
	新潟営業所、松本営業所、	
	金沢営業所、名古屋営業所、	
	静岡営業所、京都営業所、	
	大阪営業所、神戸営業所、	
	高松営業所、広島営業所、	
	福岡営業所、熊本営業所	
従業員数	862名 (連結) 786名 (単体)	
	(3月31日現在)	

子会社			
会社名	資本金 百万円	当社の 議決権比率 %	主要な事業内容
(株)あすか製薬メディカル	30	100	検査事業、ヘルスケア事業、飼育関連業務
あすかアニマルヘルス(株)	100	100	動物用医薬品、飼料および飼料添加物等の製造、販売ならびに輸出入

(注) 当社は、2017年4月1日を効力発生日として、当社の連結子会社であったあすかActavis製薬株式会社を吸収合併しております。

役員 (2017年6月29日現在)			
役員	代表取締役社長	山口 隆	
	全社統括		
	専務取締役	丸尾 篤嗣	
	社長補佐		
	取締役 常務執行役員	加藤 和彦	
	開発本部長		
	取締役 常務執行役員	福井 雄一郎	
	営業統括		
	取締役 常務執行役員	山口 惣大	
	創業研究担当		
	社外取締役	上田 栄治	
	社外取締役	吉村 泰典	
	社外取締役	山中 通三	
	常勤監査役	齋藤 守信	
	常勤監査役	小松 哲	
	社外監査役	折木 榮一	
	社外監査役	木村 高男	

執行役員	執行役員	村上 誠	
	管理本部長、新システム推進担当		
	執行役員	蓮見 幸市	
	特命事項担当		
	(株)あすか製薬メディカル代表取締役社長)		
	執行役員	熊野 郁雄	
	生産本部長		
	執行役員	寺本 裕国	
	営業本部長		
	執行役員	仲田 崇夫	
	信頼性保証本部長、監査、法務・コンプライアンス担当		
	執行役員	濱 寄 秀久	
	創業研究本部長		
	執行役員	軍 司 国弘	
	開発本部副本部長 兼 事業戦略部長		
	(マーケティング・ビジネス開発担当)		

株式の概況 (2017年3月31日 現在)

株式の状況

■発行済株式の総数	30,563,199株
■株主数	4,408名

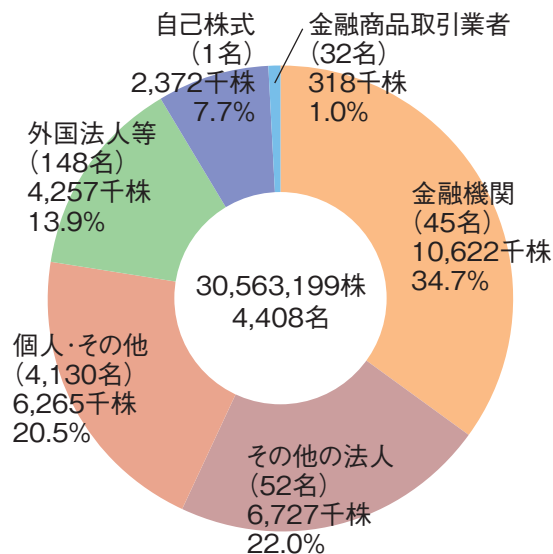
大株主の状況 (上位10位)

株主名	所有株数(千株)	持株比率(%)
武田薬品工業株式会社	2,204	7.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,931	6.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,557	5.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,100	3.9
山口 隆	914	3.2
あすか製薬従業員持株会	639	2.2
株式会社ヤマグチ	556	1.9
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	530	1.8
日本生命保険相互会社	522	1.8
トーア再保険株式会社	500	1.7

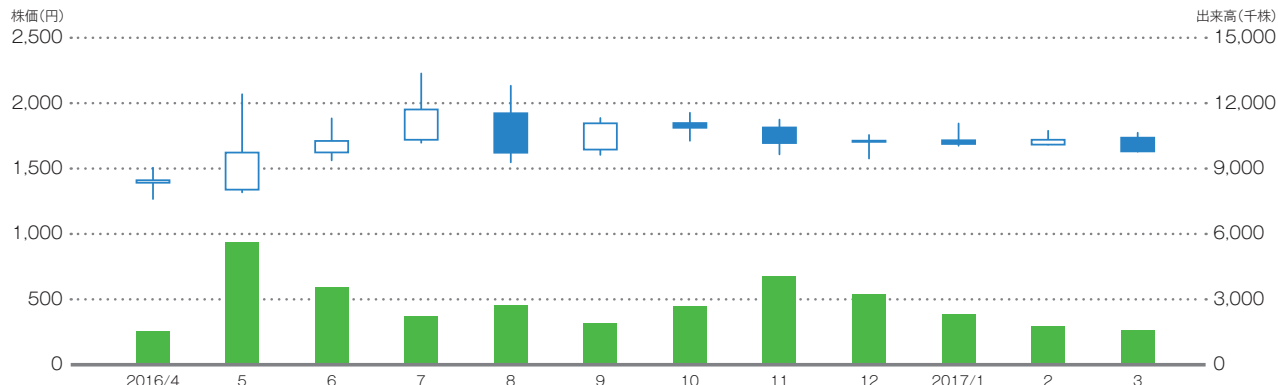
(注) 1. 当社は自己株式を2,372,034株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式の分布

所有者別



株価・売買高の推移



株式に関するお知らせ

配当金を配当金領収証でお受取りの株主様へ

より安全で、迅速な配当金のお受取り方法として、次のいずれかをお勧めいたします。
詳細は、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



配当金を銀行口座で受取りたい

登録配当金受領口座方式 または 個別銘柄指定方式

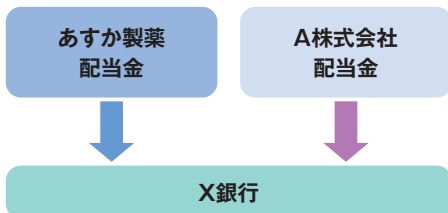
登録配当金受領口座方式

ご所有の全ての銘柄の配当金を1つの銀行(*)口座でお受取りいただけますので、配当金をまとめて管理したい株主様へ便利です。

お取引の証券会社のうち1社にお申し出いただくことで、全ての銘柄の配当金を、同一銀行口座でお受取りいただけます。

※ゆうちょ銀行は、指定出来ません。

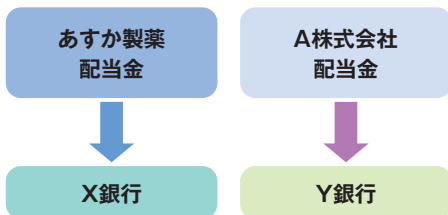
※一部の銘柄だけ別の銀行口座や別の方式を指定することは出来ません。



個別銘柄指定方式

株式をご所有の銘柄ごとに銀行口座を指定して、配当金をお受取りいただけます。

※ゆうちょ銀行も指定出来ます。



配当金を証券会社の口座で受取りたい

株式数比例配分方式

配当金を証券会社の口座で管理したい株主様に便利です。複数の証券会社であすか製薬株式をご所有の場合でも、証券会社ごとのご所有株式数に応じて、配当金をそれぞれの証券会社の口座で按分してお受取りいただけます。お取引の証券会社のうち1社にお申し出いただくことで、株主様のご所有の全ての銘柄についてお手続き出来ます。

また、2014年1月から開始した「NISA（少額投資非課税制度）」(*)において、配当金等を非課税とするには、本方式（株式数比例配分方式）を選択していただく必要があります。

ただし、ご所有の株式の一部が特別口座で管理されている場合、またはご所有の株式の一部が、本方式を採用していない証券会社に預託の場合には、本方式が適用されず、非課税とはなりませんのでご注意ください。



※NISA（少額投資非課税制度）とは

- ・NISA口座で購入した上場株式等の配当金および売買益等が5年間非課税になる制度です。
- ・非課税投資枠は、新規購入額で年間100万円（最大500万円）で未使用枠の翌年以降の繰越は出来ません。
- ・すでにご所有の上場株式等は対象になりません。

●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120 (232) 711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.aska-pharma.co.jp/invest/index.html
公告の方法	(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。)

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4514

いいかぶ 検索

空メールにより
URL自動返信

kabu@wjf.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からも
アクセス出来ます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセス出来ます。



※本アンケートは、株式会社 a2media (エー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00～17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

●株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120 (232) 711 (通話料無料) http://www.tr.mufg.jp/daikou/	

特別口座* 株券電子化前に証券保管振替機構(ほふり)に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。
特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことが出来ませんのでご注意ください。

●ご案内：少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



本 社 〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03 (5484) 8361(代) FAX.03 (5484) 8351
<http://www.aska-pharma.co.jp/>

